

第56号

小中一貫教育 G だより

令和5年度からの「自立期」について

「自立期」においては、各中学校グループが自らの児童生徒の実態を踏まえ、義務教育9年間を通じて育成を目指す子どもの姿（資質・能力）を明確にし、発達段階に応じた指導・支援を行うことで、主体的に取り組む教育を展開していきます。

各小中一貫教育グループの取組の成果

各中学校グループが義務教育9年間を通じて育成を目指す子どもの姿（資質・能力）を育成するためのそれぞれの取組について紹介します。

「スポーツフェスティバル参観」

・生徒会が主体で行ったスポーツフェスティバルの様子をビデオで撮影し、編集を行った上で各小学校6年児童に参観できるようにした。

そして児童が参観した後、感想や中学生活への意気込みを書き、中学1年生にフィードバックした。

成果

・実際に小学校児童に見せたい内容であったが、苦肉の策でビデオ鑑賞を行った。各小学校出身者による中学生による6年生へのビデオメッセージがきちんとできていた。



「中学生による小学生へのエール」

「中学校登校日」

成果

・小学校とは違う点が多かったが、他の小学校とも交流でき、不安がなくなった

・中学校への進学に不安があったが、登校日で雰囲気を知ることができ、不安が少し解消された



「中学校登校日」

